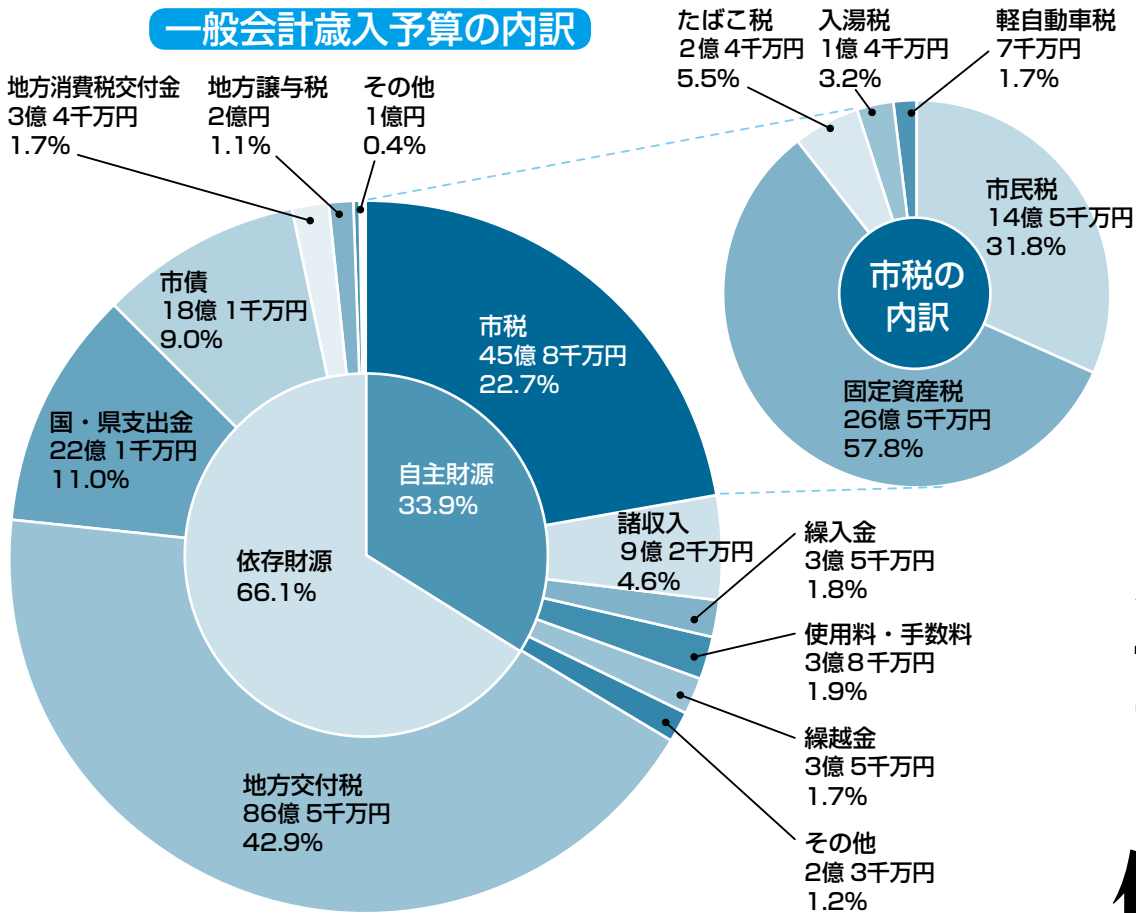
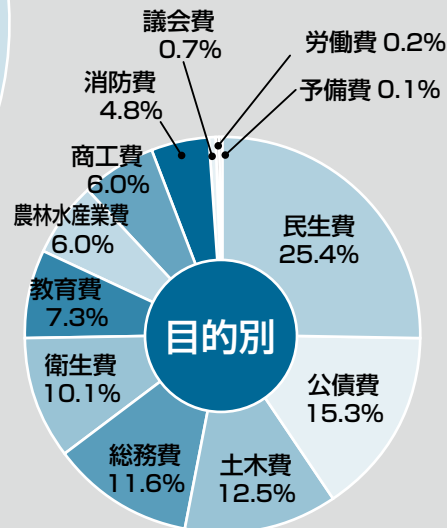
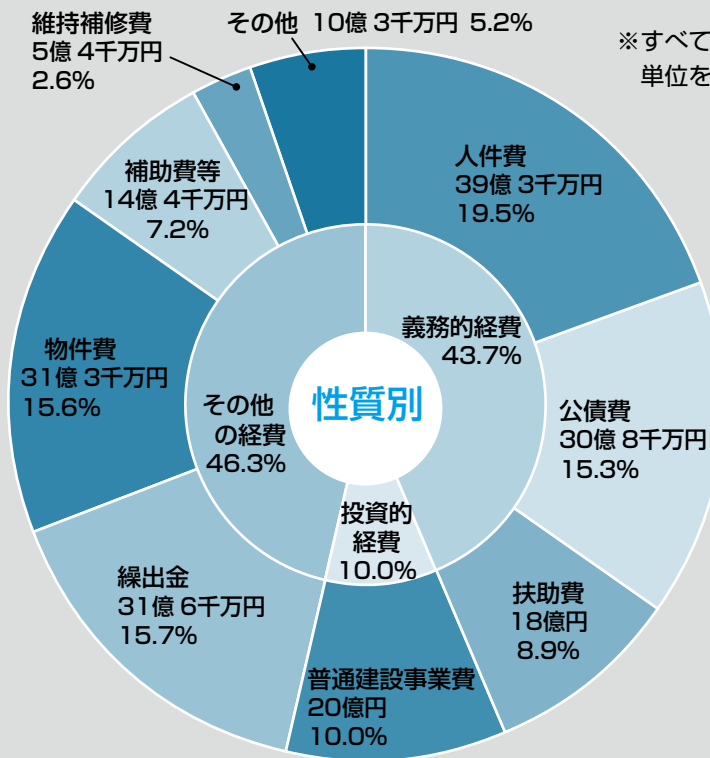


一般会計歳入予算の内訳



一般会計の総額は
201億7千万円

※すべての円グラフで、金額は 100万円 単位を切り捨てています。



一般会計歳出予算の内訳

歳入

市税は、個人市民税で納税義務者の減少及び労働人口の減少があるものの所得金額に大きな増減は無いと見込まれることから、前年度当初比7.9%の増加を見込み、法人市民税については、世界経済の低迷等による生産・輸出関連などの企業に業績悪化の不安定要素があることから、前年度当初比7.8%の減少と見込んでいます。固定資産税では、土地価格の下落が続いていることなどにより前年度当初比1.3%減少を、たばこ税では、喫煙者数の減少傾向はありますが、県たばこ税の一部移譲を踏まえて、前年度当初比22.6%増加とし、入湯税では、宿泊者数の若干の増加を見込み、前年度当初比2.4%増加を見込んでいます。

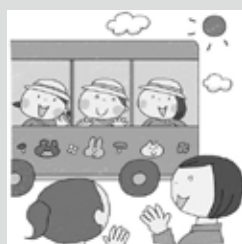
地方交付税は、前年度当初比4億5千万円(5.5%)増額を計上し、国庫支出金では、自立支援給付費負担金、社会資本整備総合交付金(市営住宅、市道)などが増額となり前年度当初比0.9%の増加見込です。県支出金は、牧場施設整備の完了ときふ清流国体終了により補助金、交付金が減額となったため、前年度当初比5.7%減少と見込み、国・県支出金は前年度当初比5千万円(4.8%)の減額としています。繰入金では、財政調整基金の取り崩しを前年度当初比4億1千万円少ない3億円に留めることができている。市債は竹原地区保育園統合整備、環境衛生施設整備などの事業に計上し前年度当初比1億3千万円(6.7%)の減額としています。

歳出

職員数の減少と職員給与等の減額により人件費が減少していますが、生活保護費、自立支援給付費等により扶助費の増加、市債の償還金である公債費の増加により、義務的経費は、前年度当初比3千万円(0.4%)増加となり、予算全体に占める割合は43.7%です。

投資的経費(普通建設事業)は、平成25年度で計画していた4小学校の校舎・屋内運動場の耐震補強事業を前年度に前倒ししたことにより前年度当初比3億5千万円(14.8%)減少しています。物件費では、行政ネットワーク機器等の更新、市内5箇所の給食センターで使用する備品の購入、金山・萩原南保育園の指定管理料などにより前年度当初比1億1千万円(3.8%)増額して

います。維持補修費は、クリーンセンター施設維持工事などにより前年度当初比6千万円(13.1%)増加、補助費は、ぎふ清流国体終了により2千万円(1.6%)減少しています。繰入金については、後期高齢者医療特別会計、国民健康保険事業(事業勘定)特別会計、下水道事業特別会計繰入金などにより前年度当初比8千万円(2.7%)の増加としています。



用語解説

【歳入】 1年間のすべての収入

【自主財源】 自前で収入できるお金

【依存財源】 国や県から交付されたり、借り入れたりするお金

【繰入金】 各種基金を取り崩して繰り入れるお金など

【地方交付税】 所得税など国が徴収した税金の中から、市町村の財政規模に応じて配分されるお金

【市債】 公共施設の建設など、市が一度に多額の出費が必要な場合に認められる長期の借入金

【国・県支出金】 国や県の決めたルールにあった仕事をする場合などに、必要な費用の一部または全部が補助されるもの

【地方譲与税】 国が徴収した自動車重量税などから配分されるお金

【歳出】 1年間のすべての支出

【義務的経費】 法令あるいは性質上、支出が義務づけられた経費

【投資的経費】 道路や建物の建設、用地の購入など市民の財産として将来に残るものに支出されるお金

【公債費】 借り入れた市債の返済に充てるお金で、元金の返済金とその利息

【扶助費】 生活保護費や障がい者への援助費など福祉のためのお金

【物件費】 委託料や使用料、光熱水費、消耗品費、備品購入費など

【繰出金】 特別会計への繰出金

【補助費等】 各種団体への補助金や交付金、保険料、謝礼金など

【維持補修費】 施設や道路などの維持補修にかかるお金